

with Dignity

金城学院の明日を見つめる [ウィズ・ディグニティ]

金城学院報

2021.
12
vol. 38

You must have Dignity.

金城学院 女性リーダー鼎談
私たちが思う、
金城らしさとは。
そして、学院がこれから
向かうべき道は。

読者
アンケートに
ご協力ください

詳細はP.14を
ご覧ください

金城学院 女性リーダー 鼎談



女性ならではの視点を 金城学院の運営に活かしていきたい。

— 大学、中高、幼稚園のトップが揃って女性になりましたね。

小室尚子学長（以下敬称略：小室） 各校のトップがすべて女性というのは初めてのことで、しかも揃って金城学院の卒業生。これは私たちが意図したわけではなくて、偶然の巡り合わせです。私たちの言葉でいえば、神様の計画だったのかなと思います。女性3人がトップになったことで、これまでは男性目線で進んできたことを女性目線で見ていくことができるようになりました。このチャンスを学院運営に活かしていけると良いと思っています。

長屋頼子校長（以下敬称略：長屋） 小室先生は私が大学時代にキリスト教センターにいらして、直にご指導を受けました。それ以来のおつきあいで、長屋先生、というよりは頼子さんと呼んでいたが、親しくさせていただいています。児玉先生とは一緒にするようになってまだ日が浅いのですが、いつも優しい言葉をかけてくださいます。神様が私たちを巡り合わせてくださったことに感謝しています。

児玉芽園長（以下敬称略：児玉） 私たち3人を神様に集めてい

ただいて、その意味はなんだろうといつも考えて仕事に向き合っています。私が園長に就任したのが今年4月。保育のことはともかく、運営のこととなると不明なことも多く不安と緊張でいっぱいです。お二人はそんな私を忘れずに、いつも声をかけてくださいます。優しさの中に強さを併せ持つお二人は、私の憧れの存在です。優しさと強さを併せ持つことは、実はとても難しいことなので。

— 女性トップであることで、困ることはありませんか。

小室 大学はこれまでずっと男性中心の世界で、男性の目線で運営が行われてきました。そういう歴史は確かにあるのですが、実際に中に入ってみると、ジェンダーバイアスはほとんど感じません。副学長や学長補佐、大学事務部長などで行う会議においても同様です。良い時期に、良いメンバーに恵まれたと感謝しています。

児玉 幼稚園はもともと女性が多い職場ですが、昨今は男性の園長や教諭の数も徐々に増えてきています。社会が女性活躍を推進するのと同様に、保育の現場でも男性の活躍を推進するダイバーシティが進んでいるのだと思います。

長屋 校長、副校長という管理職でいえば女性は確かに少数ですが、金城学院の中高においては、校長直属組織の長や分掌課長

私たちが想う、 金城らしさとは。 そして、 学院がこれから 向かうべき道は。

金城学院学院長および大学学長を務める小室尚子先生。

中学校・高等学校の校長を務める長屋頼子先生。

そして今年4月、幼稚園園長に就任した児玉芽先生。

組織のトップとして、学院の卒業生として、

縁あってこの場に居合わせた3人が語る、

リーダーとしての想い、そして未来へ伝えたいこと。

や学年主任の多くが女性です。特に分掌課長や学年主任は選挙で選ばれますから、男性だからとか女性だからという思いは、先生方にはないと思います。

小室 学院には人をおおらかに受け入れていくという土壌がある。人を型にはめたり、女のくせにという人もいないので、先生方もびのびやっておられるのではないのでしょうか。

長屋 そう、皆さん、本当にびのびやっています。私がさまざまな改革を進めることができるのも、ジェンダーにとらわれず、それぞれの個性と能力を発揮できる環境があるからこそです。

児玉 幼稚園では今年、園長と事務が同時に変わって大変なのですが、本部の方には本当に助けていただいています。どなたに相談してもとても親切に答えてくださり、サポートして下さいます。そういう意味では、金城学院はひとつの大きなチームであり、チーム力も高いのだと思います。

—— リーダーとして大切にしたいこと、心がけていることは。

長屋 私が校長になる時に理事長先生にお願いしたのは、授業を持たせてくださいということ。例えばテストがあれば、生徒たちは勉強します。先生たちはテスト問題を作っています。校長室に

いるだけではそれが共有できません。生徒や教職員がどんな動きをしているのかを常に共有したいという想いが強くあります。校長室でもお湯は沸かせますが、私は必ず職員室にいき、先生方と話をしながらお茶を入れます。放課になれば廊下に出て、生徒たちと話をします。それが私の流儀です。

児玉 それはすごくわかります。私もしょっちゅう行方不明になるんです。やっぱり子どもと関わりたいし、職員がどう子どもたちと関わっているのかを共有していきたいと思うので。保育って答えがあってないようなものなので、それは大事にしたいと思っています。ですから、朝のお迎えも必ず玄関に立って、保護者や子どもたちとふれあいます。それは歴代の園長が皆やってきたことです。

小室 私も授業を続けたいという希望を受け入れていただき、週1の授業「聖書の女性観」と15回あるオムニバス授業のいくつかを担当しています。大学や中高のトップで授業を持つ方はほとんどいらっしゃいませんが、やっぱり授業をしている時が一番楽しいし、学生たちに直接メッセージを伝える大事な時間ですから。

—— 3人はリーダーをめざす生徒や学生にとっても良きロールモデルだと思います。

小室 社会に出てどのような立場で活躍するかは人それぞれです。誰もがリーダーにならなくていいし、リーダーを支える人になってもいい。いずれにせよ、自分の持っている力を見出して存分に活かしてもらえればいいと願っています。そのためにも自ら考え、いろいろなことに挑戦してほしいですね。

金城学院の存在意義（ブランドパーパス） 『互いの尊厳を認め、互いを生かしあえる 愛に基づく社会をつくる』

—— 金城学院の強み、魅力はなんだと思いますか。

小室 毎朝の礼拝などで、先生方が聖書の話や、人としての在り方や生きる意味をお話しする時間があること。何を言っているのかその時にはわからなくても、卒業していろいろな経験をしていく中でその意味に気づき、心のよりどころにいただけると、本当に女性たちが輝いてきます。

児玉 私は一度外に出て、また学院に戻らせていただいたのでよくわかるのですが、学院の中にはとても温かな空気が流れています。「学生も生徒も子どもたちもみんなファミリーだよ」という想いが根底にあることが、他校との決定的な違いなのかなと思います。

長屋 ファミリーだからこそ、大学、中高、幼稚園が垣根を越えて協力しあえます。たとえば大学の先生が高校の授業に来てくださる。あるいは今はコロナ禍でできませんが、高校のキャラバン隊が幼稚園に行き奉仕をさせていただき、生徒も園児も共に学びあう。そんな学びの環境があることが学院の強さにも魅力にもなっています。

— 金城学院では、今年度より存在意義（ブランドパーパス）を定めました。その背景や意図は为什么呢。

小室 環境問題や人権問題など、現代社会はいま様々な問題を抱えています。そうした中で、金城学院や各校がこれら人類全体の課題とどう向き合うのか、どのような未来の創造を目指しているのか。それを表明する言葉として定めたのが、ブランドパーパス『互いの尊厳を認め、互いを生かしあえる愛に基づく社会をつくる』です。そのパーパスは、生徒、学生、教職員の理解と共感を得ることはもちろん、女性の全人教育のさらなる深化を進めていきます。突き詰めれば、これは開学以来ずっと貫いてきた学院の精神そのもので、あらゆる隣人に関心を持ち、愛をもって行動できる女性を輩出し続けることで様々な社会課題を解決し、持続可能な未来を目指していくという、学院ならではのメッセージでもあるのです。

児玉 幼稚園のスクールモットー『愛され、育ちあう。』も、根底に流れているのは建学の精神。神さまの無限の愛に生かされている者たちとして、互いに愛しあい尊重しながら、それぞれに与えられた賜物を活かし、社会に貢献できる人に育ってほしいという願いが込められています。

長屋 中高ではキリスト教教育を通じて「社会に参画し、主体的に生きる」女性を育成しています。コロナ禍ではこんなエピソードがありました。日本では2020年2月下旬に流行が始まりましたが、3月に予定されていたグリークラブと軽音楽部の定期演奏会を中止に、空手道部も全国大会への参加をストップさせました。それは本当に胸が痛むことでした。そんな時、当時高校3年生だった軽音楽部の生徒が2人訪ねてきて「定期演奏会、なんとかなりませんか」と言うんです。「自分の命。家族の命。みんなは電車を通ってくるから社会的責任もある。そういうことを全て考えて中止することにしたの」と私が言うと、その時の返事が「ありが

とうございました」でした。感激しました。そんな言葉がずっと出てくるのも、中学の時から聖書を読んで、神様の言葉を聞いているからだと思います。

小室 いま世界中の行動目標となっているSDGsにしても、掲げている17の目標にはキリスト教の教えと通じるものが多いです。他者を思いやる優しさ、人の役に立ちたいと思う優しさ、そして社会の課題に向き合い、具体的な行動に移すことができる強さ。このふたつを併せ持つ金城生たちは、きっと社会のために自身の力を発揮してくれると信じています。

— 最後に、今後の目標、抱負をお聞かせください。

児玉 せっかく中学、高校、大学と同じ学院の中にあるので、お互いの連携をもっと深め、子どもたちにとっても、生徒や学生にとっても学びあえるような機会を持ちたいと思っています。

長屋 女性3人がトップになったことで、心を割っているいろいろなことが話し合えるようになりました。「こんなことできないかしら」と、ちょっとしたアイデアも忌憚なく話しができ、そこから素敵なアイデアが生まれることもあって、力が湧いてきます。これからも3人のチームワークを高め、学生、生徒、子どもたちのためにできることを、力いっぱいやっていきたいと思っています。

小室 大学では来年4月に看護学部が新たにスタートします。校舎も建築中で、来年3月に完成予定です。新しくお迎えする先生方ともよく話をするのですが、皆さんおっしゃるのは「グローバルな視野を持った看護職者を育てたい」ということ。今は日本に住む外国人の数も増え、多様化が進んでいます。そんな人たちに寄り添う看護を実践できる知識と技術、グローバルな視野を育てたいということです。そんな志をともにする皆さまのご入学を心よりお待ちしております。



学校法人金城学院 学院長
金城学院大学 学長

小室 尚子

金城学院中学校・高等学校を経て、金城学院大学文学部国文学科卒業。東京神学大学と米ウエスタン神学校でそれぞれ神学の修士号を取得（M.Div./Th.M.）。東京神学大学大学院博士課程後期課程単位取得退学。日本基督教団井草教会、富士見町教会牧師、東京女子大学准教授などを経て、2009年金城学院宗教総主事・教授に。2020年金城学院大学学長、2021年金城学院学院長に就任。



金城学院中学校・高等学校 校長

長屋 頼子

金城学院中学校、高等学校、金城学院大学文学部社会学科を卒業。1988年金城学院中学校教諭、1996年金城学院高等学校教諭。2012～2013年金城学院高等学校教頭。2014～2017年金城学院高等学校副校長。2018年金城学院中学校・高等学校校長に就任。



金城学院幼稚園 園長

児玉 芽

1984年金城学院大学家政学部児童学科卒業。1984～1991年金城学院幼稚園に教諭として勤務。2007～2018年瀬川保育園保育士を経て2018年金城学院幼稚園教諭に着任。2019年には副園長、2021年に園長に就任。2017年より金城学院大学人間科学部現代子ども学科（現現代子ども教育学科）の非常勤講師も兼任。

2021.
10.14
OPEN

学院に関する史料を収集・整理・保管・展示。 金城学院史料館がOPEN。

2021年10月14日(木)、金城学院に関する史料を収集・整理・保管・展示する「金城学院史料館」がオープンしました。金城学院に関する史料は、これまで年史編纂作業などを通じて集められ、総務部の職員を中心に史料の整理やデータベースの構築を行ってきました。太平洋戦争の空襲で多くの貴重な史料が焼失。情報が不足している中で史料整理には困難が伴いました。こうした長年の作業の成果をもとに、2021年度に資料館を開所することとなり、大学図書館の職員が史料館担当を兼務して開所作業に従事しました。作業にあたっては、大学から幼稚園までの関係者に広く興味を持ってもらうため、展示物や掲示物のラインナップに注力。展示室のレイアウトや照明などの内装、展示ケースについても何度も検討を重ね、ようやく開館の日を迎えました。

金城学院史料館

場 所:金城学院大学キャンパス内
E2棟1F
開館日:大学の授業日(土日祝除く)
開館時間:10時~16時
問い合わせ先:museum@kinjo-u.ac.jp
※担当者は常駐しておりませんので、
メールにてご連絡ください。



史料館の展示室内



「金城台の歌」手書き原稿



「女学専門冀望館」の教室を再現したコーナー

開所式でのテープカットの様子
(左から、吉村清明事務局長、戸川創理事長、小室尚子学院長)

館内には、金城学院の歴史や創成期の宣教師の方々を紹介するパネルや、金城学院に関する刊行物、写真、周年記念グッズなどを展示。100年以上前のオルガンや市村與市先生のガウン、信時潔氏手書き原稿「金城台の歌」なども展示しています。3名の生徒で開校した「女学専門冀望館」の教室の様子を再現したコーナーもおすすめです。なお、史料館が所蔵するユニークな史料を紹介する「企画展示コーナー」は、数か月毎に展示替えをする予定です。今後は金城学院の建学の精神や先人の歩みを伝えていくとともに、金城学院の教育・研究支援にもつながる活動を行うなど、史料館が「金城アイデンティティ」を育む存在になってほしいと願っています。

KINJO INFORMATION

金城学院オリジナルグッズ 新商品のご紹介

サステナブルジュエリーとして
アップサイクルされたネックレスが登場!

▶ オリジナルジュエリー

金城学院としてサステナブルな社会づくりに貢献するために、「リレーユース」という独自の考え方に基きモノの循環に取り組むKOMEHYOに製造委託。金城学院の校章をあしらったアジャスター付きです。



◀ THERMOS製
オリジナル
真空断熱ポケットマグ
(左:小120ml、右:大180ml)

▶ オリジナル
スタンドキープマグ



金城学院オンラインストア
商品の詳細情報やご注文はこちらから
<https://kinjo-gakuin.com/>



完売
御礼

2021年7月より販売していただきました「オリジナルフェイラーハンカチ」は大変好評いただき、完売となりました。次年度も新たなデザインを企画しています。発売予定は金城学院アプリなどでお知らせいたします。



公式アプリ
Kinjo Gakuin Official App

アプリでさまざまな情報をお届けします!

金城学院大学の学生だけでなく、金城学院の卒業生のみなさんでもご利用いただけるアプリです。金城学院大学の学生に向けては学生生活に役立つ様々なコンテンツ、卒業生に向けてはさまざまな情報やお知らせなどをお届けします。

カメラやコードリーダー搭載のアプリを起動して、以下の二次元バーコードから、もしくは、各ストアから検索してダウンロードしてください。



🔍 金城学院



アプリのダウンロードはこちらから! ➡➡

フィールドワークを通して

生活者目線で問題解決の方法を探る。

「福祉という言葉は、どちらの漢字にも幸せという意味がある。

福祉という言葉は人々の幸せを表しているんです」と橋川健祐先生。

しかし、世の中には幸せを感じるのがままならない状況にいる人も大勢います。そのなかでも橋川先生が眼差しを向けるのは過疎地域に暮らす障害のある人たち。

「評論家にはなるな」の言葉を胸にフィールドワークを重ね、

当事者一人ひとりの思いに耳を傾けています。



福祉の現場を支える立場から、研究者の道へ。

福祉を学ぼうと思ったのは、高校1年の時の祖父の死がきっかけです。ちょうど2000年の介護保険制度が始まった年で、祖父もデイサービスなどを利用していたのですが、日に日に認知症が悪化し、祖母や母の介護疲れもあって1週間ほど入院。それまでは祖母には感情が抑えきれずに大声を出したりすることも多かった祖父が、家に戻ってきたときには別人のように元気がなくなり、ほとんど言葉も発さないようになってしまいました。直後、一般病院に入院し、その2ヶ月後に亡くなりました。入院中に何があったんだろう、と疑問を感じ、自分の親が老いた時に同じ状況になるのは嫌だと思い、福祉を学ぼうと思いました。入学した関西学院大学では福祉を学びつつ、社会福祉士を取得するための現場実習での出会いや学びがきっかけで、卒業後は三重県社会福祉協議会に就職。働きだして4年目の末に東日本大震災が起き、現地の災害ボランティアセンターの応援スタッフとして、震災が起こった年の4～8月に5回に渡って、岩手県上閉伊郡大槌町へ。そのことがきっかけで将来のことを考え直し、ご縁あって母校の関西学院大学に任期付きで勤めることになりました。

障害のある人たちの声から、地域の福祉や経済のありようそのものを問う。

社会福祉学の中には地域福祉論という分野があり、その中でも過疎地域をフィールドに、障害のある人たちがいかに働きながら住み続けていけるか、そのための政策と方法を研究しています。過疎が社会問題となって、実は半世紀以上が経過しています。近年では地方創生をスローガンに、移住を後押しする各地の取り組みも目立っています。ただ、移住をPRできる力のある自治体は良いですが、そうでない地域に移住者は関心を示しません。体力のない自治体ではさらに人口が減少し、インフラの撤退等、生活を継続することが難しくなります。その一方で、障害のある人たちの中には、家族と離れられない、住み慣れた環境でないと体調を崩してしまうなどの理由で、その地域でないと生活できない人も少なくありません。そうした地域で働き続ける障害のある人たちにお話を聞くため、岩手県や鹿児島県などの過疎地域へ足を運んできました。中でも、京都府北部の与謝野町へは通い始めて10年が経過します。そこでは、障害のある人たちが宿泊施設や地産地消のレストランの運営、自治体や地元農業者と連携し、農家で



橋川 健祐 准教授

HASHIKAWA Kensuke

金城学院大学 人間科学部
コミュニティ福祉学科 准教授

関西学院大学人間福祉学部卒業。社会福祉士として三重県社会福祉協議会に就職。2012年より、関西学院大学 人間福祉学部 社会福祉実習助手として勤務。2016年同大人間福祉学部 社会福祉学科 助教授。2018年金城学院大学 人間科学部 コミュニティ福祉学科 専任講師。2021年同大同学部 准教授。

専門分野：過疎地域再生、地域福祉、
コミュニティワーク

売れ残った野菜や果物をジュースやジャムなどに加工して販売するなど、安定的な給料を得るための創意工夫を重ねておられます。条件不利と言われる過疎地域でそのような経営がなぜ可能なのか、またそれによって本当に障害のある人たちの暮らしは良くなっているのか、探求を続けています。

社会課題の解決策を考え、カタチにする。

子どもの虐待や貧困問題、ワーキングプアなど、私たちの周りには多様な社会問題が存在します。これらの問題を傍観しないで「自分ごと」として解決していける、そんな学生を育てたいと思っています。3年生対象の「ソーシャルウーマンプロジェクトD」という授業もその一環で、自身が関心のある社会課題の解決策を考え、企業やNPO等と連携しながら実践までを行います。ある学生は守山警察署と協力して高齢者の特殊詐欺被害を防止するための啓発動画を作成。またある学生は就活中のセクシュアルハラスメントをなくしたいと講習会動画を作成し、今年4月に本学の全就活生に配信。さらに大手マスコミ各社でも報道いただき、広く社会へも発信しました。今年度は前期から生理の貧困問題の解消に向けての活動をスタートさせました。これからも、学生たちと生の社会課題、生活課題を題材に様々なプロジェクトに取り組み、互いに学びあい、成長し続けていきます！

育てよう！ソーシャルウーマン



震災前の町並みの模型

東日本大震災からちょうど10年が経過した今年11月、ゼミ生を連れて久しぶりに大槌町を訪問。震災直後、そしてその後10年を現地の語り部の方々とともに振り返りました。



大槌町文化交流センターにて

橋川先生担当の授業 「ソーシャルウーマンプロジェクトD」 から生まれた研究成果の一部をご紹介します。

大学のHPでも動画や詳細を公開していますので、ぜひご覧ください。



「高齢者の特殊詐欺被害防止プラン～チーム地域・家族で防ごう！～」をテーマに、守山警察署の協力を得て啓発動画やチラシを作成。この動画は今も愛知県警察の公式YouTubeで公開されています。



一般社団法人日本ハラスメント協会の協力のもとで制作した「就活中のセクシュアルハラスメント防止のための講習会動画」。本校の就職活動中の学生に配信されたほか、同協会のHPでも公開されています。



生理の貧困問題の解消に向け、企業各社様から寄付をいただき、学内にて生理用ナプキンを配布。10月下旬からは残ったナプキンを学内数箇所のトイレに常設しています。

「林学科に進んできこりになる」。そんな思いを担任に伝えたのは高3の時。「それはやめとけ。無理だ」と即座に却下され、農場実習のある農学科へ。フィールドワークや実験を通して本物に触れたいという思いからでした。そんな学びのスタイルは教師となった今も変わらず、授業では、植物を顕微鏡で観察したり、ブタの眼やアカムシを解剖したり、生徒とともに生命の神秘、奥深さを身近に感じたいと願っています。



手と足を動かして、実体験する。

高校時代、好きな教科は数学でした。でも、フィールドに出たり、実習や実験がしたいという思いもあり、大学は農学部を選びました。当時は30人の学科のメンバーのうち女性は2人だけ。現在の理系女子の割合に比べると隔世の感がある大学生活でした。大学卒業後は金城学院中学・高等学校の非常勤講師に。子育てで一度職を離れるものの、23年前に専任教諭として復帰しました。

教科指導の中で心がけていることは、「本物に触れさせる」「実物を見せて自分で体験させる」。中学で教えていた時も、恵愛祭のクラス発表は必ず生徒とともに出かけ、実際にやることを心がけていました。ある年は、残飯をミミズに食べさせて肥料としてリサイクルしている「ミミズ牧場」を見学し、いただいたミミズを、残飯を食べさせながら飼育しました。またある年は、木曾川上流の森林の保全活動をする「みたけ・水トラスト」の活動現場に行き、間伐、枝打ちをお手伝い。思えば、フィールドワークや実習を希望して大学を選んだ自分と今の自分と、根本のところでは全く変わっていないことに、あらためて気づきました。

実験を通して、生物の面白さを伝えたい。

生物の面白いところは、常に最新の知見を学べること。例えば京都大学の山中伸弥教授らがiPS細胞の作製に成功したのは2006年。名古屋大学の東山哲也教授が被子植物の受精の瞬間を世界で初めて捉えたのが2001年。つい最近のことなんです。生物学の進歩に伴って新しい知見がどんどん入ってきて、10年前の教科書と今とは内容が全く違います。それだけ内容が高度になり、覚えなければならない用語もどんどん増えて、生徒は大変だと思います。

生徒には、紙上の知識だけではなく、実験や実習を通して自分で発見してほしいと思っています。今年は文系3年のクラスでも「授業で学んだ知識を実験を通して追体験する」という授業スタイルに挑戦しています。それもレシピ通りに実験するのではなく、レシピを考えさせる。例えば、発酵によってアルコールが発生する実験で、「反応を起こす試験管の中には何を入れますか」と問うと、「アルコール」と答える生徒がありました。与えたレシピで実験をしていたら言われた通りに動くだけであるということを実感。そういう意味では、実験は回数が必要なのではなく、実験前の準備や実験後のデータ処理と考察が大切で

生命への関心と理解を深めてほしい。

本物を見て、触れて、感じることで



村上 恵子 教諭

MURAKAMI Keiko

金城学院高等学校
担当教科 / 理科 科目 / 生物

名古屋大学農学部卒業後、金城学院中学校・高等学校 非常勤講師。子育てのため退職し、その後1998年専任教諭として復職。金城学院中学校に16年勤務、高等学校に7年勤務。2018年より演劇部の顧問も務める。

あることを改めて学びました。これはもちろん自分一人ではできないことではなく、実験助手の朱宮郁代さんに助けていただきながら、今年チームを組んでいる河江綾子先生と共同で実験準備にあたっています。金城学院には多くの先輩の先生方の宝のような実験の歴史が残されています。それを通して生徒に本物に出会ってもらおうことができればうれしい限りです。

4年前、自ら希望して演劇部の顧問に。

部活動もルーツは学生時代にあり、高校時代、英語部で毎年文化祭にシェークスピアの英語劇をしていた経験が楽しく、大学でも演劇部に入りました。金城学院130周年の一昨年、宗教主事の沖崎先生から制服制定に関するレクチャーを受け、創作台本を書きました。金城学院百年史を読み、事実に物語を借りて書きあげました。その中で、金城のキリスト教教育のゆるぎなさに感銘を受けました。演劇部は一昨年、この台本で地区大会を勝ち上がり、県大会に出場しました。演劇はチームワーク。裏方もキャストも本音で話し合い、ぶつかり合いながら一つの舞台を創りあげます。これからも生徒の伴走者として、ともに表現者としての世界を広げていきたいと思っています。

Q. 村上恵子先生ってどんな人？

高1の時に生物基礎を教えてもらったのですが、初回の授業でいきなり童話「ごんぎつね」の話を始め、そのうち想いがあふれて大泣き。その時は唖然としましたが、それだけ優しく暖かい先生なのだということが3年間のおつき合いでよくわかりました。このプーさんはそんな先生への感謝の気持ちをこめて、クラスみんなでプレゼントしたもの。先生は自宅で養蜂をされていて、村上先生といえばハチミツ、ハチミツといえどプーさんということで。体育祭の創作ダンスと同じマスク、衣装を着せています。



(写真左から)
堀部あいり(3年J組)
西ヶ谷梨里(3年H組)
岩月百々花(3年H組)
宮本愛子(3年H組)

村上先生の活動アルバムより



4代にわたる金城学院生の制服をモチーフに「女性が学ぶということ」を描いた舞台。初演は2019年。今年の伝道週間でも再演されました。



演劇部の生徒たちと。



「金城学院百年史」と幼稚園の頃から慣れ親しんできた聖書。

理科室でミミズを飼育!



水源の森・みたけで木こり体験。生徒とあちこちに出かけ、その中で出会った人たちは私の大切な財産です。

with コロナのいまだからこそ KIDSセンターが存在する意義がある。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響でKIDSセンターが臨時休館となったのは2020年2月27日。事業を再開したのは4ヶ月後の6月29日でした。以来、一度も臨時休館することなく活動を続けています。そこで、休館から再開までの経緯や現在の活動状況を、KIDSセンター長の日比野直子先生、運営委員の加藤大樹先生、スタッフの宮川仁絵さんにお聞きしました。

感染対策を徹底して、支援活動を再開

KIDSセンターは2015年10月金城学院大学にオープンした子育て支援センターです。主に0～2歳児親子を対象に、地域の親子と学生・教員が関わり、温かくゆるやかなつながりの中で共に育ち合うことを目的に運営されています。多い時は一日80名、平均して60名の親子が訪れるなど、その存在が地域に浸透してきた中での休館。しかし、こんな時だからこそ、親子の居場所としてKIDSセンターが存在する意義がある、というスタッフと運営委員の強い思いのもと、再開に向けての検討が行われました。その結果、必要と思われる感染対策（入場制限・三密を避ける環境設定・消毒作業の徹底等）を講じて支援活動を再開しました。「来館した親子からは、再開

を待っていたという声が多く聞かれ、この場所が親子の心の拠り所になっていたことに感動しました」と宮川さん。当初は見合わせていた子育てセミナーや音楽療法、学生サポーター活動も徐々に再開。コロナ禍であっても支援の充実を試みています。



館内の模様替えや遊具の数を減らすなど、様々な工夫を凝らして親子を迎えています。

KIDSセンター Caféで 子育て支援情報を発信

来館することができない親子にもKIDSセンターの支援を届けたい。そんな思いからHPを活用した情報発信型支援「KIDSセンターCafé」も開設。昨年8月17日より配信を始めました。「制作・おうち遊び」「子育てトピック」「絵本の紹介」などコンテンツも充実。KIDSセンターで体験できる日々の遊びや、スタッフや教員、学生との交わりを感じられるような記事を、

スタッフ・学生・教員が作成し、発信しています。Caféがスタートして1年。「せっかく大学の施設なので、大学の研究の知識や心理学の知識を、お父さん、お母さんにわかりやすくお届けしたいという思いで記事を書いています。スタッフから、お母さんからこんな相談があったと聞くと、それを記事にしてフィードバックするなど、いいサイクルが生まれている」と言うのは、「子育てトピック」担当の加藤先生。「キリスト教行事」や「学生企画」といった金城学院ならではのコンテンツも大事にしているそうです。

▶詳細はHP
「KIDSセンターCafé」を
ご覧ください！



動き出した地域連携の試み

「KIDSセンターはあくまでも一つの社会資源。自治体、保育所など地域の子育て資源がそれぞれの特性を活かしあい、連携をしてこそ、真に地域の子育て家庭を支援できる」と日比野センター長。「だからこそ、単発的ではなく、持続的な連携関係の構築を模索してきた」と続けます。そんな思いが徐々に実を結び、守山区民生子ども課の要請で、2019年9月より区内の主任児童委員研修がKIDSセンターで開かれ、区内各地区の子育て支援について情報交換の時を持てるようになりました。さらに2021年からは、新規にエリア支援保育所となった大森保育園との連携支援の試みとして、「教えて、保育士さん！」企画がKIDSセンターで定期的開催されることに。「子育て世帯を支える地域づくりを」というKIDSセンターの試みはいま、地域を巻き込み、新たな風を吹かせています。

お母さん同士、コロナ禍でおしゃべりはできなくても、「つながっている」と感じ、安心するそうです。



(左から)
日比野直子センター長（現代子ども教育学科教員）、
宮川仁絵さん（開設当時から勤務）、
運営委員の加藤大樹先生（多元心理学科教員）





コロナ感染症防止対策のもと、 うんどうかいを開催しました。

10月14日(木)、気持ちの良い秋空の下、今年も無事うんどうかいを行うことができました。園児ひとりにつき参加できる保護者の数を制限したり、競技の時間短縮に努めたり、親子で参加する競技を子どものみに変更したりと、様々な工夫を凝らすことで、おうちの方々と子ども達の成長を喜びあえる行事の一つができ、嬉しく思います。

うんどうかいでは毎年、競技の一部をその年の子ども達の姿を見て、保育者間や子ども達の話し合いで決めています。今年の年長さんはリズムあそびが好きで、クラス活動などで繰り返し楽しんできました。自分の思い通りに身体を動かすことができるようになったことで自信をつけ、力いっぱい身体を使って表現する楽しさを覚えていました。日々の練習でも、より上手くやろうと、子ども同士がお互い意識し合い刺激を受けているようでした。満三歳児と年少さんにとっては初めてのうんどうかい。年中さんは思いっきり身体を動かす楽しさを覚えたところ。うんどうかいは保護者の方々に、我が子だけでなく周りの子ども達との関わりや、それぞれの成長を実感して頂けるまたとない機会となっています。

頼もしい年長さんへの憧れも

うんどうかい等の行事では、年長さんの活躍が際立ちます。クラスの応援席まで誘導してくれたり、分からないことを教えリードしてくれたり、年少児や満三歳児の子達のメダルを作ってくれたり、あらゆる場面で係りとして運営を担ってくれます。特にクラス対抗リレーは子ども達の想いも熱く、盛り上がります。練習でなかなか最下位から抜け出せず、涙する子がいたり、走ることが好きで自由活動の時間も自分達で道具の準備をし、繰り返し走る子の姿があったりと、日々の保育の中でもうんどうかいに対する強い想いを感じら



年長児のリレー

れました。そんな年長児の姿に刺激を受けてか、「私も年長さんになったらリレーのゼッケン作って走るんだ!」と、年中さん。今年の年長さん自身も、去年の年長さんの姿が胸に残っているようで、「もうすぐリレーができる!」と、その日を待ちわびていました。

毎日の保育の中で身体を動かすことの楽しさを味わったり、健康な身体を神様に感謝して過ごすことはできますが、子ども達が強く抱く憧れや期待は、うんどうかいを経験するからこそ得られる感覚なのかもしれません。

つなげていきたい、子ども達の想い

私たちの園では縦割り保育を取り入れています。日頃から生活や遊びを通して縦の関わり合いは多いですが、年齢別の発達に合わせた活動も大切にしています。いつも一緒に遊んでいる優しく頼りになる大好きなお兄ちゃんお姉ちゃん達が、年長児だけのあつまりで見せるかっこいい姿。うんどうかいで披露した縄跳びやリズム、リレーで走る姿は、今年もきっと年下児達の目に心に焼き付いたことでしょう。年上児を通して抱く未来への期待や憧れ、この機会をこれからも大切に守っていきたいと思います。

満三歳児(にじくみ)の応援タイム



年中スペシャル「玉入れ」

年少スペシャル
「おかたづけきょうそう!!」

年長スペシャル「側転」

金城学院高等学校はWWL(ワールド・ワイド・ラーニング)事業提携校に指定されました。

名古屋大学附属高等学校・名古屋大学教養教育院共催「高大接続探究ゼミ」に本校生徒が参加。

名古屋大学教養教育院に所属する5名の先生方がWWL事業拠点校と連携校の高校1・2年生を対象に、双方向性のある「ゼミナール形式」の授業を開講しました。会期は8月17日から20日までの4日間。本校からは8名の生徒が参加。大学の学びにいち早く接することで、受験勉強とは異なった「探究的な学び」があることを体験しました。また、TA(ティーチングアシスタント)として参加する名古屋大学の学生から名古屋大学の魅力を聞いたり、他校生と交流するなど、貴重な学びの機会を得ることができました。



「考える化学実験」の授業風景

WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)とは

2019年6月、文部科学省は新たな時代に向けた学びの変革、取り組むべき施策の一つとして、文理両方を学ぶ高大接続改革にもとづく「WWLコンソーシアム」の創設を提案しました。Society 5.0の時代に向けて、イノベティブなグローバル人材を育成するため、高等学校等と国内外の大学、企業、国際機関等が協働し、高校生国際会議を開催するなど、高校生へ高度な学びを提供する仕組み「AL(アドバンスト・ラーニング)ネットワーク」の形成を目指す取り組みです。

2021年度から名古屋大学教育学部附属中・高等学校がこのWWLコンソーシアム(=ALネットワーク)構築支援事業カ

キュラム開発拠点校に採択されました。同校とは長い交流の歴史がある本校は事業連携校に指定されました。2021年はこれまでも名古屋大学が企画する英語の大学講義「Studium Generale」、「学びの杜・学術コース」や「ALE(Active Learning in English)」を本校の生徒が受講。大学レベルの高度な学びを体験することで、知の探究の楽しさや厳しさにふれるとともに、自身の興味や関心について深く考え、進学や将来のキャリアデザインにつないでいます。また、名古屋大学では2022年度から「基礎セミナー」など、名古屋大学の「正課科目」に連携校の高校生を受け入れ、科目履修生として位置づける予定です。



「自分の声を可視化してみよう」の授業風景

「高大接続探究ゼミ」に参加した生徒たちの声をご紹介します。

参加講座 ・考える化学実験
・時事問題で学ぶファシリテーション



「考える化学実験」では大学の実験器具を使用し、普通の学校の座学とは違う能動的な授業を受けました。思考力やチームワークなど、様々な面でスキルアップにつながったと思います。「時事問題で学ぶファシリテーション」ではコロナの問題を通じ、他校の方と意見交換ができました。コミュニケーション力の必要性を感じ、これからの自らの課題が見つかりました。(2年 R.N.)



参加講座 ・考える化学実験
・Pythonでフラクタルを描画しよう



「考える化学実験」では色についての実験を行いました。色は光でできており、その光は波であるということを自分の目で確かめることができ、感無量でした。「Pythonでフラクタルを描画しよう」では絵を描くプログラムを作成。このイベントを通して化学や情報分野のリアルな姿を体験し、自分の進路を考える良い機会となりました。(2年 Y.M.)

参加講座 ・自分の声を可視化してみよう
・Pythonでフラクタルを描画しよう



私はもともと情報学に興味があり、この講座を選択。大学で行っている授業に近い授業を受けることができ、とても楽しかったです。大学で実際にプログラミングを体験したことで、将来は情報技術を活かせるような仕事がしたいと思うようになりました。(2年 R.T.)

参加講座 ・考える化学実験
・パソコンで"ことば"を調査しよう



このプログラムでは名古屋大学のキャンパスで、他校の生徒とともに大学の講義を受けることができます。自ら考えたり、教わったことを応用する機会が多く、普段の勉強とは違う大学の学びを体験しました。日常生活と学問の関りも実感し、自先のテストや入試のためだけでなく、将来につなげていくための勉強を意識することが必要だと気づきました。(2年 A.W.)

参加講座 ・考える化学実験
・Pythonでフラクタルを描画しよう



ゼミでは中高で習ったことを生かして、自分達で結果を考えたり、実験をしたり。難しい言葉もたくさん出てきましたが、結果がわかったときはとても嬉しかったです。大学へ行くまでにもっとたくさんの知識を身につけて、新たなステージに進みたいです。(2年 N.M.)

「考える化学実験」の授業風景

※Pythonとは、組み込み開発、WEBアプリケーション開発などで利用される、わかりやすく実用的なプログラミング言語です。



できることを考え、楽しもう！ コロナ禍での「恵愛祭」&「体育祭」

今年度の恵愛祭、体育祭は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため一般公開は中止に。恵愛祭は校内でできることを企画・実施、体育祭は愛知県体育館で、学年ごとにわかれての開催となりました。

恵愛祭 9/30(木)・10/1(金)

咲かせよう希望の花を～寄り添いの種を蒔いて～

今年は分散登校など制限が多く、クラス発表や部活動も準備にとれる時間が例年の半分になったり、夏休み前から準備していた生徒会企画が感染対策上でできなくなってしまうなど、困難な状況がさまざまにありました。でも、コロナ禍だからやれない、やらないではなく、「感染対策をしっかり行った上で何ができるか」を常に意識して、生徒たちと一緒に企画・準備を進め、恵愛祭当日を迎えました。特に文化部の生徒たちは発表の場が少ない状況にあるので、いきいきと演奏や展示を行っていました。生徒会も2年前に比べ活動の機会が少なくなりましたが、恵愛祭を通して全校生徒と関わって活動したこと、コロナ禍での恵愛祭を作り上げたことで、大きな喜びと達成感を得たことと思います。一般生徒も我慢の中の恵愛祭ではありましたが、楽しそうに各ブースを回っていました。

体育祭 9/22(水)

みんなの心をひとつに、最高の演技を届けよう

昨年は校内で行われた体育祭。今年は2年ぶりに愛知県体育館で行うことができました。新型コロナ感染対策のため各学年に分かれての時差開催となり、例年なら学年ごとのクラス対抗リレーや綱引きなどの競技が行われるのですが、今年はマ스ゲームのみの発表となりました。保護者の方々を

ハンドベル部



管弦楽部



例年、文化部の発表は講堂で観客を入れて行っていたのですが、今年はオンラインでの配信に。

軽音楽部



3年生全体のオリンピック・パラリンピックの企画では万国旗などで雰囲気盛り上げ、各教室の展示も見応えがありました。



コロナ禍ならではの企画「シトラスリボンづくり」。予定していた約200本のリボンがすべてなくなりました。

生徒会
長
ジ

Message

今年の恵愛祭テーマは「咲かせよう希望の花を～寄り添いの種を蒔いて～」。そこには、私たちにとって大きな出来事である「東日本大震災」と「新型コロナウイルスの流行」の2つに伴う差別と偏見について考える時を持ってほしい。そこから自分の意見を持ち、寄り添う気持ち、寄り添いの種を蒔いてほしい、という思いが込められています。種を蒔くことで花が咲く。希望の花を皆さんの心の中に咲かせてください。
(生徒会長 山田佐和)

お招きできないため、クラスごとのマスゲームの映像を撮影し、後日オンラインで配信し、見ていただけるようにしました。さまざまな制限がある中での体育祭でしたが、生徒たちは一生懸命練習に取り組み、本番では素晴らしい演技を見せてくれました。



1年生「金城体操」



2年生「こまの動き」



3年生「創作ダンス」



制限がある中でも
笑顔をやささない生徒たち

寄付金の お礼とご報告

金城学院へのご寄付をいただきまして、心より感謝申し上げます。今号では2021年6月から2021年10月末日までにご寄付をいただきました方々のご芳名を掲載し、深く感謝の意を表します。みなさまからのご厚志を有効に活用させていただきます。今後とも金城学院へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

寄付者ご芳名録

(敬称略・順不同)

同窓会 野のはな	井上 瑞穂	種田 美佳子	黒田 麻友香	西脇 優子	遠藤 卓也	柳川 壽子
廣澤 一郎	倉戸 美穂	稲山 直志	大野 友寛	熊澤 美代子	兒玉 敏子	岡 義嗣
金海 勇	立木 敦子	株式会社カミヤマ	川井 一浩	大澤 政子	吉田 豊子	株式会社杏林堂薬局
金森 里子	飯田 要子	江之本 郁代	藤原 雅憲	長谷川 里子	加藤 純也	石川 亮
三浦 剛	山口 貴之	伊藤 泰弘	森川 信義	水野 あや	服部 君江	兄山 崇浩
岩本 智美	大島 卓郎	林 まどか	佐藤 温	大西 康代	伊藤 まり子	舟橋 潤子
米川 岳子	加藤 麗名	近藤 康夫	井口 愛子	日永 美知代	香村 美宗	花谷 嘉教
奥田 高久	中島 由美子	鮎川 潤	山内 健嗣	鈴木 萌	水野 理代	坂倉 弘靖
木村 尚仁	福嶋 宏	猪飼 美穂	白井 秀樹	後藤 万里子	金田 昌敏	
真野 寿樹	原口 敬子	長谷川 真弓	九鬼 伸哉			
小崎 恵子	花木 敏郎	株式会社アドマテックス 代表取締役社長 安部 賛	一般社団法人 リボンアカデミー 代表理事 荒尾 美紀			
林 哲也	太田 千津子					
田中 せい子	山本 直雄	村尾 静枝	林 みよ			
伊藤 清人	大見 典子	坂口 龍一郎	杉戸 紀久子			
中田 路実	水谷 恭子	栗原 位充	波多野 誠			

寄付者	件数	寄付目的	寄付金額(円)
保護者	49	修学奨学金	690,000
卒業生	49	本学院発展	2,338,000
教職員(元教職員含む)	8	その他	2,005,000
その他	11	総計	5,033,000
総計	117		

※匿名希望及び掲載の可否を確認できない方29件
同一寄付者による複数回の寄付4件

金城学院 維持協力会

金城学院維持協力会は、「金城学院の教育活動に対する支援と、さまざまな社会環境の変化に対する適切な助言を行うことによって、金城学院の維持・発展に寄与すること」を設立の趣旨とし、2011年度に発足されました。現在、東海地区を代表する有力企業などにご賛同いただき、ご入会いただいております。

維持協力会ご芳名録

(敬称略)

■ 法人

愛知株式会社
株式会社アイビーネット
株式会社アイワット
株式会社明石スクールユニフォームカンパニー
アット・ワンス株式会社
株式会社アドマテックス
天野商事株式会社
エヌビーエス株式会社
株式会社オティックス
株式会社カミヤマ
株式会社キクタケ
教育産業株式会社
株式会社杏林堂薬局
キョウ薬局株式会社
金城学院大学生協同組合
株式会社きんでん 中部支社
グリーンシティケーブルテレビ株式会社
株式会社コイワボンドマニファクチャリング
ココマーケティング株式会社
株式会社sus4

三協立山株式会社 三協アルミ社
三建設備工業株式会社 名古屋支店
株式会社三晃社
株式会社産通
サンメッセ株式会社
株式会社シーアールイー
株式会社シーオーエー
株式会社ジェイエスティ
敷島製パン株式会社
株式会社正文館書店
株式会社進研アド
株式会社新東通信
スギホールディングス株式会社
株式会社スギヤマ薬品
セクダム株式会社
株式会社瀬古写真館
瀬戸信用金庫
株式会社大学通信
大成建設株式会社 名古屋支店
大成有業不動産株式会社 名古屋支店
大成ロテック株式会社 中部支社

ダイダグ株式会社 名古屋支社
中央電気工事株式会社
株式会社中京テレビサービス
株式会社中部キャラバン
中部電力株式会社
中部土木株式会社
中部日本放送株式会社
電子システム株式会社
東海東京証券株式会社
東海報知機株式会社
東邦ガス株式会社
トリニティー株式会社
有限会社永井抱陽写真館
株式会社中日造園土木
エスパシオエンタープライズ株式会社
株式会社名古屋銀行
名古屋トヨペット株式会社
株式会社名古屋ピアノ調律センター
日本管財株式会社
株式会社日本ドリコム
トヨタモビリティ東名古屋株式会社

表示灯株式会社
株式会社ファインメディカル
福玉精穀倉庫株式会社
株式会社ブランナーズブランド
株式会社册和商事
株式会社マイナビ
丸善雄松堂株式会社 名古屋支店
株式会社三菱地所設計
三菱電機株式会社 中部支社
株式会社名北調剤
盛田エンタプライズ株式会社
株式会社ヤマハミュージッククリテリング
一般社団法人 ライフ予防医学センター
株式会社LIXIL
リンナイ株式会社

■ 個人

浅井 清司 岡本 浩延
杉浦 孝洋 野田 清衛
橋本 修三 半谷 眞一郎
山田 隆雄 吉岡 肇

2021年10月末日時点

Christmas Special Calendar

クリスマス行事のおしらせ

金城学院

金城学院 ハンドベルクワイア 創立50周年コンサート

日時 12月25日(土)
14:00~15:00

場所 金城学院大学
アニー・ランドルフ記念講堂

※参加は保護者に限らせていただきます。

金城学院大学

ハンドベルクワイア クリスマスコンサート

日時 12月11日(土)
16:45開場 17:30開演

場所 金城学院大学
アニー・ランドルフ記念講堂

入場料 一般 1,000円

大学クリスマス礼拝

日時 12月16日(木) 17:00~18:00

場所 金城学院大学
アニー・ランドルフ記念講堂

説教者 小室 尚子
(金城学院学院長・宗教総主事・大学長)

特別讃美 大学クワイア
大学ハンドベルクワイア
大学ハーブアンサンブル

※参加は在学生・教職員に限らせていただきます。

金城学院高等学校

クリスマスハーブアンサンブル演奏

日時 12月11日(土) 14:00

出演 高校ハーブアンサンブル部

場所 日本キリスト教団愛知西地区青少年連合
オンラインクリスマス会(校内にて)

※関係の方々を対象とした限定配信です。

クリスマスハンドベル演奏

日時 12月24日(金) 時間未定

出演 高校ハンドベルクワイア

場所 ミッドランドスクエア

キャロリング

日時 12月24日(金)・25日(土) 時間未定

出演 高校グリークラブ
(中学校グリークラブも出演します)

場所 ミッドランドスクエア

金城学院中学校

ハーブアンサンブル

日時 12月12日(日) 10:00

場所 日本バプテスト名古屋キリスト教会
(アドベント第3礼拝にて)

ハンドベルクワイア

日時 12月12日(日) 14:00

場所 栄聖書教会

金城学院幼稚園

クリスマス讃美礼拝

日時 12月16日(木) 9:50

場所 金城学院幼稚園

にじぐみクリスマス礼拝(満3才児)

日時 12月16日(木) 10:45

場所 金城学院幼稚園

クリスマス親子礼拝

日時 12月18日(土) 13:30

場所 金城学院大学
アニー・ランドルフ記念講堂

プログラム ◎礼拝

- ◎幼稚園ハンドベルクワイア
卒園生による
ハンドベルミニコンサート
- ◎年長児キャロリング

※参加は在園児・保護者に限らせていただきます。



※コロナウイルスの感染状況によっては
変更の可能性があります。

2022年4月

看護学部、誕生。

健康だけじゃない。その人らしさまでを支えられる看護職者へ。

特設サイトは
こちら▼



+ 金城学院報についてアンケートご協力のご願い +

いつも『with Dignity』をご愛読いただきありがとうございます。アンケートにて皆様のご意見を頂戴し、今後の金城学院報のあり方を検討してまいります。ご協力のほど、宜しくお願いいたします。(金城学院報編集委員会)

スマートフォンで記載のQRコードからアンケートフォームにアクセス。
または、ハガキが同封されている場合はそのハガキの返送をもって
ご回答いただけます。

▶ アンケート回答フォーム



回答締切

2022年
1月10日(月・祝)

Xmas Message

闇の中を歩む民は、大いなる光を見、
死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。

[イザヤ書9章1節]

20年前、私は米国ニュージャージー州の小さな白人教会の牧師をして、平和な日々を謳歌していました。しかし、それは突然、私たちを襲いました。9月11日同時多発テロが起き、総数3,062名が犠牲になりました。ニューヨークの世界貿易センタービルで働いていた知人の名が邦人初の犠牲者として報道され、私はその方の葬儀をしました。葬儀会場には故人を知らない方も来られ300名入る礼拝堂が満席となり、外で葬儀に参列した方も数えきれないほどいらっしゃいました。みな一様に、闇の中を歩いているような面

持ちをしていました。

それでも12月にクリスマスを迎えることができました。大きな安堵感を覚え、涙を禁じ得ませんでした。2000年前、ローマ帝国に支配されたイスラエルの民も闇の中を歩んでいました。しかし、彼らは神への信仰と希望を失いませんでした。大いなる光が必ず来ると信じていたからです。やがて光は来ました。そして、その光は今も燦然と輝き続けています。

吉松 純 (大学宗教主事)

みどり野会 (同窓会) より

みどり野会は1903年に設立された金城学院の卒業生が集う会です。『みどり野会』という名称は大正9年(1920年)、旧約聖書の詩篇第23篇から名付けられました。

主はわが牧者なり われ乏しきことあらじ
主は我をみどりの野にふさせ
いこいの水濱にとまひたまふ

神さまによってこの学院に集められた私たちが卒業後も母校に集まり、いこいの時を過ごす場という意味で「みどり野会」はいつも皆さんと共にあるのです。

お知らせ

2022年度 みどり野会総会

- 日 時：2022年4月16日(土) 10:30~14:00
 - 場 所：名古屋東急ホテル
 - 礼 拝：前金城学院中学校宗教主事 後藤田 典子 先生
 - ◎ 要申込：みどり野会事務局までお申し込みください(会費制)
- ※総会後の愛餐会で卒業生によるミニコンサートを予定しております。

※イベント予定の変更がある際は、みどり野会HPにてご連絡します。

お問合せ先 電話：《本部》052-931-4480(中学校白百合館1階) / 《分室》052-798-0193(大学本部棟4階)
[みどり野会事務局] <https://www.kinjo-midorino.com> ※活動詳細は会報『みどり野103号』をご覧ください。

寄付金募集について

これまでの金城学院への様々なご支援に心より感謝申し上げます。
今年度もご寄付をお受けしております。
2口以上ご寄付賜りました方には本学院より心ばかりの品をお送りさせていただきます。

寄付金の使途

1. 修学奨学金のため
2. 本学院発展のため

2項目からお選びいただけます。

寄付に関する詳細は
寄付リーフレット
及びホームページを
ご覧ください。

<https://www.kinjo-gakuin.jp/donation/about/index.html>



金城学院

学校法人 金城学院
名古屋市守山区大森二丁目1723番地
TEL.052-798-0180
発行者 / 金城学院報編集委員会
金城学院報通巻第108号
(With Dignity vol.38)
発行 / 2021年12月

表紙について

金城学院中学校 メディアライブラリー

2017年8月に完成した中学校の新校舎「恵愛館」のメディアライブラリー(図書館)は、校舎の中心にあり、吹き抜けが広がる明るく空間です。1・2階から出入り可能で、約8万5,000冊の蔵書、IT環境を備え、本とパソコンを両立した探究型学習や、落ち着いた環境での自習など、生徒たちのお気に入りの場所です。

with Dignity

金城女学校・第6代校長であるエラ・ヒューストンが、外出する生徒に「金城の生徒として「You must have dignity」と話しかけたことに由来しています。「dignity」は、尊厳・品位の意。